

(皮膚科)

1. 概要

当科の特色の第一は悪性腫瘍が多いことである。比較する数字をあげることは出来ないが、公立の総合病院としては異例に多く、大学病院やがんセンターに匹敵する数である。その分手術件数も多い。

第二は膠原病の多さである。これは皮疹をきっかけに診断されることが多く、軽症例が診断後当科でそのまま治療されることが多いためと思われる。

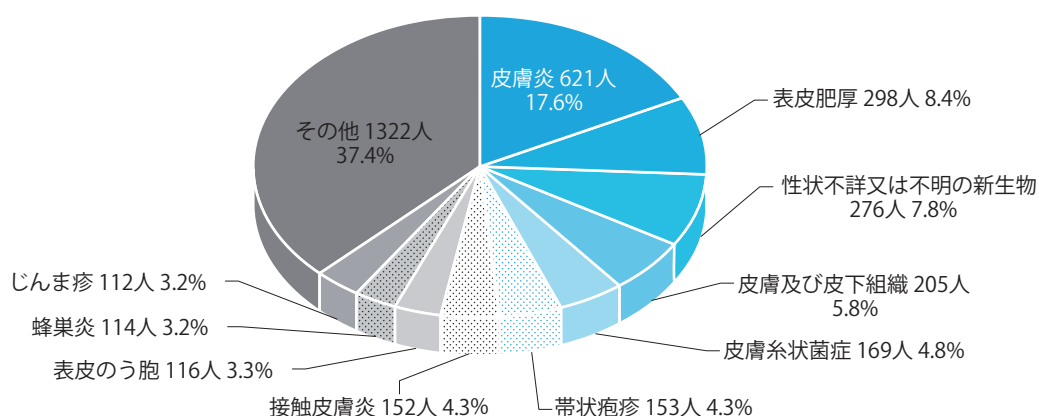
第三は蜂窩織炎の多さである。これは、蜂窩織炎は緊急入院の適応となることがほとんどで、現在豊橋市内で入院加療が出来る皮膚科が当科のみであるからと思われる。

(山田元人)

皮膚科

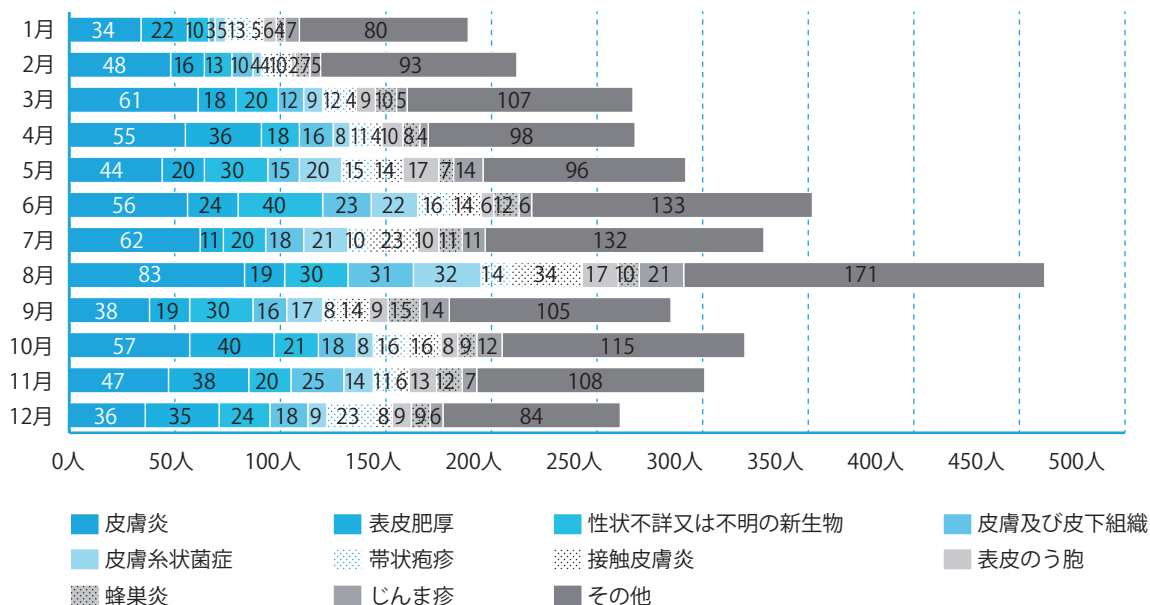
疾患別頻度

新患者数:3,538人



月別疾患別頻度

新患者数:3,538人



皮膚科

悪性新生物

新患者数:69人

1	有棘細胞癌	22人
2	基底細胞癌	16人
3	肉腫	9人
4	悪性黒色腫	8人
5	付属器癌	5人
6	乳房外パジェット病	5人
7	転移性皮膚腫瘍	4人
	計	69人

良性腫瘍、熱傷、膠原病

新患者数:542人

1	良性腫瘍	401人
2	熱傷	116人
3	全身性硬化症（強皮症）	12人
4	血管炎	6人
5	皮膚（多発性）筋炎	5人
6	全身性エリテマトーデス＜紅斑性狼瘡＞	2人
	計	542人

学会発表

<皮膚科>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	肛門部悪性黒色腫の1例	山田 元 人	第28回日本皮膚悪性腫瘍学会	2012/6/30
2	陰嚢巨大有棘細胞癌の1例	水谷 和 広	第63回日本皮膚科学会中部支部学術大会	2012/10/13
3	メルケル細胞癌の2例	萩原 里 香	第63回日本皮膚科学会中部支部学術大会	2012/10/13
4	表皮嚢腫から発生した有棘細胞癌の1例	萩原 里 香	第262回日本皮膚科学会東海地方会	2012/12/2